

交流山行 大日ヶ岳 雪洞体験

2017年3月11日(土)～3月12日(日)

メンバー

Aパーティー(3/11～12) L: 坂野、世田

Bパーティー(3/11のみ) L: 和利、松野、久保田J

Cパーティー(3/12のみ) L: 磯部S、510、手塚、ふじ、藤田、草田、岩代、ヤマメ

3月11日(土)

東海北陸道ひるがの高原SA(ETC出口)を出てR156号へ入り、別荘地の中を登山口へ進む。カーナビをたよりに進むが、積雪で行き止まりが多く迷いながら登山口へ到着。先行者の数台が登山口手前の道路でチェーンを巻いているため、路面状況を確認したところ二駆では登れないとのこと。

Bパーティーはここから出発とした。Aパーティの坂野車は軽快に坂道を登っていった。

Bパーティーは8:00出発。5分ほどで上部駐車場のAパーティに合流し出発した。



登山口駐車場

駐車場は積雪で狭く、無理して登ってこなくて正解。



いつく平手前の急斜面

天候に恵まれ、風もなく気持ちがいい。急斜面を登ると暑い。



いつく平（輪かん装着）

トレースはあるが、つぼ足では潜って歩きにくいいためここで輪かんを装着した。
しばらく平らな尾根道を進む。
今日の目的は、雪洞堀。
Bパーティの使命は雪洞を掘ってAパーティの寝床を確保しなければならない。
輪かんの快適な歩みを実感しながら、雪洞適地を探して進む。



ゾンデ棒で深さを測る坂野

30分ほど進んで、登山道右側の斜面に雪洞適地を探した。積雪は2m、表面の1mは新雪で柔らかい。



積雪量が少ないためまずは雪山を作った



ザックを中心に置き、シートを被せて雪を盛る。雪山作りに30分。周りの雪を集めてスコップで固める。
なかなかの重労働である。



雪洞入口を定めて掘り進む。雪は締まって堅く、スノーソウを使ってブロックを切り出す。



そろそろBパーティのタイムリミット。3時間の雪洞作りを終え、記念撮影を済ませて下山した。
お疲れ様でした。

<タイム> (Bパーティー)

浜松三方原4:10－ひるがの高原、大日岳登山口8:15－いっぶく平10:30－幕営地11:05－下山開始14:15－登山口14:35－浜松三方原20:10

和利(記)